

1-3-1-1 高山市指定文化財（建造物）^{そうゆうじほんどう}宗猷寺本堂

木造入母屋造銅平板葺
桁行 18 メートル
梁間 15.9 メートル

基壇上に建ち、前面三方吹抜け、敷石床となった禅宗様式の強いこの本堂は、文政 7 年（1824）8 月 26 日落成され、大工棟梁は坂野半三郎であった。

高山地域唯一の臨済宗寺院の建物で、量感ある外観を持ち、仏殿や法堂の基本形である敷石床を前面に、内部を畳敷きとしたことは、その古い形式をよく表している。

五山の仏殿や法堂にならって外観を二重にするとともに、和様や大仏様の手法も取り入れている。

昭和 50 年 7 月 10 日指定
高山市教育委員会

説明板より